

せせらぎ



年始のご挨拶



施設長 濱岡 孝子

2024年、年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、当施設の運営に対しまして、利用者様、ご家族や地域の皆様には温かいご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

新年早々、辛いニュース(大地震、羽田空港飛行機事故)が、重なり、不安な年明けとなりました。被害にあわれた方々には心からお見舞いを申し上げます。

さて、昨年5月からは新型コロナウイルス感染症が分類上、2類から5類に位置付けられました。

しかし、当然のことながら、新型コロナウイルスの脅威は消えることはありません。

小樽市内は観光客の往来が戻り、新型コロナウイルスに加え、インフルエンザも落ち着くことなく、家族感染や知らず知らずのうちに感染してしまう状況もあります。

ご家族をはじめ、利用者様には、面会制限などで不自由をおかけしていますこと、誠に心苦しく思っており、ご理解いただけただけなら幸いです。

今後も職員一同、感染予防に配慮しつつ、皆様に安心して生活していただけるサービスの提供に努めてまいりますので本年もよろしくお願いたします。

皆様のご多幸とご健康を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。





年末年始行事食



今年の年末年始も「年越し蕎麦」と「おせち料理」を召し上がっていただきました。

「年越し蕎麦」には『蕎麦のように細く長く生きられるように』と長寿を願う意味があります。



「おせち料理」にはそれぞれの料理に意味がありますが、中でも「エビ」は『長いひげを生やし、腰が曲がるまで長生きする事を願う』意味があります。

入所様様が今年も健康で長生きできるよう願いを込めて、お食事を提供させていただきました。

編集後記

窓外の勝納川を遡上する秋鮭の姿に感動を覚え、当施設の開設1周年を迎えたのもつい先日!?

と思っていたら、卯から辰へと干支が変わり、令和6年を迎えました。何事も「祥雲龍翔」な1年にと願った矢先の能登半島地震。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。一刻も早い復旧・復興とともに、一日も早く平穏な日常が戻りますようお願いいたします。(YJ)



新人・異動職員ご紹介



池田知栄子(2F)

他施設で長く介護の仕事をして、今年7月から当施設で働くことになりました。

年齢的にも利用者様に近いので、寄り添いながらも常に笑顔でいてもらえるように

頑張りたいと思います。笑顔と笑いがモットーです。よろしくお願いします。



百嶋さおり(2F)

入所者様には、施設での生活に慣れて頂けるよう、

コミュニケーションを図っていきたいと思います。



大江みゆき(2F)

今までの介護経験を生かし、入所者様にとりまして居心地が良く、

安心して過ごして頂けるように接していきたいと思います。



海老名ひとみ(3F)

仕事を覚えるのに時間がかかる場所がありますが、一生懸命頑張ります。

よろしくお願いいたします。



鈴木啓子(3F)

ラポールなんたるより異動してきました。

ユニットケアも少し経験しました。今までの経験を生かして頑張ります。



奥夕希子(4F)

皆様が日々穏やかに過ごせるよう笑顔で頑張ります。



板倉智恵(4F)

一日でも早く仕事を覚え、皆さんや入所者様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



増田裕之(4F)

仕事を楽しみながら頑張りたいと思います。



行事写真集

開設1周年記念にて



昭和のうた 歌謡ショー



美味しく頂きました